

## 第2次奥出雲町総合計画及び第2期奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略 第1回審議会 議事録

### 【開催日時・場所】

令和2年7月30日（木） 14:00～16:00

仁多庁舎4階 大会議室

### 【議事次第】

1. 町長あいさつ
2. 審議会委員の委嘱書交付
3. 審議会会長及び副会長選出
4. 諮問書手交
5. 議事
  - (1) 計画策定の経緯について
  - (2) 策定スケジュールについて
  - (3) アンケート調査・キーパーソンヒアリングについて
  - (4) 計画策定に向けた視点
  - (5) その他



審議会の様子

### 【配布資料】

1. 計画策定の経緯について
  - ・第2次奥出雲町総合計画及び第2期奥出雲町総合戦略の策定について（資料1）
  - ・奥出雲町総合計画〔概要版〕
2. 策定スケジュールについて
  - ・第2次奥出雲町総合計画及び第2期奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略【策定フロー】（資料2）
3. アンケート調査・キーパーソンヒアリングについて
  - ・アンケート調査実施概要（資料3）
  - ・町民アンケート調査票
  - ・キーパーソンヒアリング調査事前アンケート実施概要（資料4）
  - ・事業状況マネジメントシート【総合計画・総合戦略】
4. 計画策定に向けた視点
  - ・計画策定に向けた視点（資料5）
5. その他
  - ・第1回審議会 次第
  - ・審議会委員名簿
  - ・略語解説一覧（参考資料）

【出席者名簿】

順不同 ◎会長、○副会長

区分・所属		氏名	団体役職等	出欠席
委 員		有田 昭一郎	中山間地域研究センター 企画情報部 研究企画監	出席
		岩佐 俊秀	奥出雲町自治会長会連合会 会長	出席
		植田 良二 ○	奥出雲町商工会 会長	出席
		島 啓司 ◎	社会福祉法人奥出雲町社会福祉協議会 会長	出席
		藤原 卓	雲南医師会仁多ブロック	出席
		堀江 康輔	仁多郡森林組合 代表理事専務	出席
		金倉 弘美	奥出雲町農業委員会 会長	出席
		村尾 明利	奥出雲町土地改良区 理事長	出席
		福田 浩文	仁多郡農業士会 会長	出席
		若月 ゆかり	奥出雲町連合婦人会 会長	出席
		村尾 紀代之	奥出雲町消防団 団長	出席
		山本 勝昭	奥出雲町民生児童委員協議会 会長	出席
		藤原 直人	社会福祉法人 仁多福祉会 理事長	出席
		黒田 克司	島根県立横田高等学校 校長	欠席
		藤原 稔	仁多郡小中学校長会 会長	出席
		足立 維久子	仁多福祉会園長会 代表	出席
		石原 武志	奥出雲町議会 総務経済常任委員会 副委員長	出席
		大垣 照子	奥出雲町議会 教育福祉常任委員会 委員	出席
		和泉 恵	奥出雲町観光協会 理事	出席
		安部 雅人	山陰合同銀行三成支店 支店長	出席
事務局	奥出雲町	勝田 康則	町長	出席
	奥出雲町	藤原 努	副町長	出席
	奥出雲町	江角 啓	企画財政課長	出席
	奥出雲町	石原 耕司	企画財政課長補佐	出席
	奥出雲町	渡部 英子	企画財政課	出席
支援 事業者	(株)コスモブレイン	實重 彩香	技術部計画課 計画第2課長	出席
	(株)コスモブレイン	松崎 健	技術部計画課 主任	出席
	(株)コスモブレイン	上代 美帆	技術部計画課 技術員	出席
	(株)コスモブレイン	岡 利文	顧問	出席

## 【議事録】

### 1. 町長あいさつ

### 2. 審議会委員の委嘱書交付

(委嘱書の交付、委員の紹介)

### 3. 審議会会長及び副会長選出

会長に奥出雲町社会福祉協議会 島 啓司氏を選出

副会長に奥出雲町商工会 植田 良二氏を選出

(会長及び副会長就任のあいさつ)

### 4. 諮問書手交

(町長から会長へ諮問書を交付)

### 5. 議事

(1) 計画策定の経緯について

(2) 計画策定スケジュールについて

(3) アンケート調査・キーパーソンヒアリングについて

(事務局説明記録省略)

#### キーパーソンヒアリング事前アンケートについて

堀江委員	各地区で自主的に活動している団体をアンケートの対象に入れてはどうか。地域を活性化したい気持ちの高まりでグループができていると思うので、意見を取り込むべき。
事務局	町事業であるきらり輝く地域づくり事業を活用して、各地区で活動している団体がある。そうした団体に聞き取りをすることもできる。
堀江委員	各地区で目立たなくても自主的に活動している団体があると思う。自治会に紹介してもらおうと良いのではないか。
事務局	検討させていただく。

#### アンケート調査について

植田副会長	10年、20年先を見据えた奥出雲町のまちづくりのために、若者の意見が重要となる。自治会や消防団では若者が減っているのにも関わらず昔と同じことを求められ、若者にとって負担となっている。自分たちの世代が無意識に昔と同じことを求めて、若者にとって住みにくいまちづくりをしてしまった。この先の新しい奥出雲町づくりのために、男性女性ともに20代~40代の若者の意見をすくい上げてほしい。
事務局	昨年度中山間地域研究センターにて若者定住要因調査をしており、データを活用したい。キーパーソンヒアリングでも若い方の意見を頂くようにしたい。

大垣委員	アンケートの対象について、本町では少子化が問題であり、既婚の若い女性及び未婚の男性女性の町に対する意見は聞く必要がある。アンケート対象の比率構成はどうなっているか。
事務局	無作為抽出であるため、年齢、性別、結婚しているかどうかについては加味していない。実態に沿って比率の多い年代、性別が多く抽出されている。結婚については抽出段階ではわからない。
大垣委員	それぞれの属性を踏まえ、分析をしっかりといただければと思う。
島会長	回答として出た結果をしっかりと分析することが大事。

#### (4) 計画策定に向けた視点

##### (事務局説明記録省略)

和泉委員	資料5にある課題以外に重要な課題としてネット環境がある。町内でも地域によって環境に差があるため、実態を調べてほしい。 今後、ネット環境は様々なことに影響してくる。例えば、1ターン者の受け入れにあたってどこでもリモートワークができる環境が十分に整っていない問題がある。またコロナ禍においても重要な問題になっており、私の関わる団体で取ったアンケートからは事業所においても事業に支障が出ていることがわかった。奥出雲町に暮らす魅力に大きく関係することなので、特段の視点でとらえるべきこと。既存総合戦略では重要視されていなかったが今後は取り上げるべき。
島会長	町民アンケートにネット環境や通信環境に関する項目は入っているか。
事務局	アンケート調査票9ページに㊸情報化の推進として挙げている。情報関係の担当課は総務課であり、マネジメントシートを基に現状や今後の取組みについても掘り下げたい。
福田委員	奥出雲町はかつて情報化が全国でも最先端であったが、当時のままでは現在は環境として遅れている。回線が混雑しているのか動画も見られない。今後は5Gの時代。ネット環境については今後重要な問題であるので、新しく項目として追加したほうが良い。
島会長	ネット環境の実態を事務局で調査してほしい。現状と今後の課題、将来性が見えないと議論が進まない。
事務局	事業状況マネジメント調査をする中で、住民意見も踏まえて点検、評価したものを提示する。Society5.0の実現を国も提示している。これらも計画へ盛り込んでいきたい。
藤原委員	新型コロナウイルスの影響で小中学校が休校となった時、オンライン授業ができなかった。今後児童に一人ずつ端末を配る計画も出ている。早急に使えるよう対応してほしい。
島会長	次回の審議会にて、現場の声なども含め、実態を把握したものを提示してほしい。

有田委員	計画を作る目的として住民が安心して豊かな生活をおくることが重要となる。その視点で考えると強みと弱みを住民目線で整理する必要がある。加えて強みと弱みを分野別で整理すると議論がしやすい。
島会長	強みと弱みについて角度を変えてみる必要があるというご指摘であり、次回反映してほしい。
事務局	対応する。中山間地域研究センターには進め方の視点も含めて相談させてほしい。
藤原委員	奥出雲町の高齢化率は約 44%であり、比率を下げるために若者の定住者を増やす対策も必要だが、それには限度もある。高齢者が住みやすいまちづくりは必要である。重要なのは買い物や通院時の交通手段であり、自動運転技術など最先端の通信技術が必要となる。この先 10 年間で、できるかわからないが、将来に向けて研究を進めていくことも計画に含まれていたほうが良い。

(5) その他

事務局	大人数でそれぞれのテーマについて話し合うのは難しいところがある。提案であるが、分野ごとに詰めた話もあるため、9 月末の第 2 回審議会以降で、分野ごと小グループでの会議を開催しても良いか。
島会長	多岐にわたる分野の委員がおり、一括の会で話し合いをするのは効率的に考えても難しい。分科会方式の提案があったがいかがか。その方向で案を次回提案し、必要があれば分科会を開催できるよう段取りしてもらうのはどうか。
和泉委員	分科会は効率的だと思うが、個人の気持ちとしては異分野の方と意見を交わす機会は貴重だと思う。ある程度分科会の議題を決めてもらい、それに対する意見や想いがある委員が参加できる形にしたら、活発な議論ができるのではないか。単純なグループ分けにならないほうが良い。
島会長	9 月末以降、分科会案を示し、開催するかどうかの選択は次回の審議会で決定したい。違った分野の方も参加できるように検討してほしい。
副町長	本日の会議では計画策定手順等、説明が多かった。次回から議論を本格的に進めていき、ご意見を頂戴したい。これまでの計画にない新たな視点、考慮すべき点として、SDGs、ICT の推進に向けた取組み、コロナ禍での生活様式、新たな価値観などがある。それらを踏まえた計画策定が求められている。10~20 年後の奥出雲のまちづくりについて夢を語っていただき、そのアプローチについて意見を頂戴したい。